

氏名	東口 晴菜	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	成人看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科卒業、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士前期課程修了				
経歴	2010年日本赤十字社医療センター看護師、2016年株式会社MICメディカル臨床開発モニター、2017年～埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 助手、2025年～埼玉県立大学看護学科 助教				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学会、ニューロサイエンス看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	高次脳機能障害を有する患者の発症直後から退院までの期間に家族が医療従事者から受けた支援に関する実態調査	共著	あり		日本ニューロサイエンス看護学会誌, 第11巻(第1号), p.3-11	東口晴菜、山口乃生子、朝日雅也
2	高校生ヤングケアラーの支援者間連携における促進因子と阻害因子	共著	あり		保健医療福祉連携学会誌, 第19巻(1号), p2-12	辻玲子、水間夏子、上原美子、浅井宏美、東口晴菜、常盤文枝
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第1報）－シミュレーション前後の臨床推論の変化－	共同		日本看護学教育学会第35回学術集会, 講演集 P.46	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2025.8
2	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第2報）－シミュレーション実施が臨床判断能力へ与える効果－	共同		日本看護学教育学会第35回学術集会, 講演集 P.46	○常盤文枝、會田みゆき、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2025.8
3	A県における高校生ヤングケアラーを支援するスクールソーシャルワーカーの実践と支援上の課題	共同		保健医療福祉連携教育学会	○水間夏子、辻玲子、上原美子、浅井宏美、東口晴菜、常盤文枝	2025.10
4	看護学生の状況報告における Situation Awareness の特徴	共同		日本看護科学学会第45回学術集会	○金さやか、會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2025.12
5	高校生ヤングケアラーのJ-KIDSCREEN - 27を用いたQOL評価	共同		日本看護科学学会第45回学術集会	○東口晴菜、浅井宏美、辻玲子、上原美子、水間夏子、常盤文枝	2025.12
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研 基盤研究 (C)	急性期の高次脳機能患者と家族への医療アクセシビリティを高める看護支援モデル開発	研究代表者	2025.4~2026.3
2	科研 基盤研究 (C)	高校生ヤングケアラーに資する支援者間連携モデルの構築	研究分担者	2025.4~2026.3
3	科研 基盤研究 (C)	認知的徒弟性を活用した臨床判断能力育成のための教育プログラムの開発	研究分担者	2025.4~2026.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅰ		2	「回復期・リハビリテーション期にある人の健康レベルからみた健康障害の特徴」「成人学習理論」の講義を担当し、学生の理解を深めるため双方向の授業 (アクティブラーニング) 実施した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床実践看護		15	技術演習を担当し、準備・運営を行った。学生が自主性をもって参加できるように支援した。
2	成人看護学Ⅱ		4	技術演習を担当し、準備・運営を行った。学生が自主性をもって参加できるように支援した。
3	成人看護学Ⅲ		15	・技術演習を担当し、企画・運営を行った。学生が主体性をもって参加できるよう支援した。 ・看護過程における小グループ演習ではチューターとして参加し、学生自身が自ら学びグループディスカッションが活発となるようサポートを実施した。
4	成人看護学Ⅳ		4	・技術演習を担当し、企画・運営を行った。学生が主体性をもって参加できるよう支援した。
5	成人看護学Ⅴ		30	・技術演習を担当し、運営を行った。学生が主体性をもって参加できるよう支援した。 ・看護過程における小グループ演習ではチューターとして参加し、学生自身が自ら学びグループディスカッションが活発となるようサポートを実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ		2025.5~2025.6	3年次生を対象とし、計4週間学内にて実習指導を行った。結果として、指導学生全員が療養支援の基礎的能力を養うという学習目標を達成できた。
2	成人看護学実習Ⅱ		2025.5~2025.6	3年次生を対象とし、計4週間臨地にて実習指導を行った。結果として、指導学生全員が療養支援の基礎的能力を養うという学習目標を達成できた。
3	総合実習		2025.7	4年次生と対象とした実習にて、補佐として実習指導 (2日間) を行った。結果として、指導学生全員が各自の計画に沿った実習目標を達成できた。
4	IPW実習 (地域担当)		2025.8~2025.10	4年次生を対象とした他職種連携実習において、川越・比企地域の地域担当を行った。実習中の各教員・学生の支援に加え、報告会の運営を行った。報告会では活発なディスカッションになるよう事前準備や当日のファシリテートを行った。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4~2025.12	主指導	1名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	SPU★ナースング～看護師を目指すためのオープンカレッジ～	埼玉県立大学	看護師を目指す県内の高校生を対象に、グローバルヘルスおよびフィジカルアセスメント体験として、「低所得国に住む人たちの健康問題について考える」「高度シミュレータを使用した身体観察技術」を企画した。	2025.8
2	災害に備える第一歩！看護師と一緒に学ぶ避難生活と平時の備え～避難所運営ゲーム（HUG）体験～	埼玉県立大学	高校生を対象に、将来起こりうる災害への備えを考えるきっかけとして、HUG体験を企画した。	2025.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	総務委員		2024.4~2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	大学広報活動	埼玉県立大学 入試実施部会企画 高校生対象実習室見学 説明担当		2025.10
2	全学的委員会及びセンター業務等	共通試験 副監督員		2026.1
3	学科等における委員会等	1年生担任		2025.4~2026.3
4	学科等における委員会等	国家試験対策PJ担当		2025.4~2026.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目担当者会（学生・webclass担当）		2025.4~2026.3
6	学生支援	3年次生2名の進路相談（就職相談）		2025.12
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			